

第二種奨学金貸与月額変更願(届)(増額)

独立行政法人

日本学生支援機構理事長 殿

私は、返還総額が増すことを理解したうえで、独立行政法人日本学生支援機構学資金の貸与月額を下記のとおり増額することを願う。つきましては、返還誓約書(兼個人情報情報の取扱いに関する同意書)で確認し、誓約した内容に加えて、貸与月額の増額に係る確認書並びに返還誓約書(兼個人情報情報の取扱いに関する同意書)及び日本学生支援機構諸規程に定める取扱いに従うことを

大枠線内及び必要事項は正確に、もれなく記入のうえ学校に提出してください。※1～7については記入要領を確認しながら記入してください。

奨 学 生 番 号										学籍番号	ABCXXX	提出日※1	西暦 20 26 年 11 月 24 日									
8	2	X	0	4	X	X	X	X	X		生年月日	西暦 2007 年 10 月 1 日 (満 19 歳)										
学校名		学生支援大学								学年	1 年	フリガナ	キョウ タロウ									
学部・学科 (課程・研究科)		経営学部										氏 名 (自署)※2	機構 太郎									

※本人氏名の押印欄は、「変更後の借用金額」を訂正する場合のみ必要です。

変更後の借用金額 (予定・総額) ※3	3	1	5	0	0	0	0
	機	構	2	7	6	0	0

※本願出に記載された変更後の借用金額が予定する借用金額を上回っている場合は、貸与月額及び貸与

変更後の借用金額に訂正が生じたので、氏名横にも同一の印鑑を押印。

以下の手順で変更後の借用金額を訂正。

- ①金額全体を二重線で抹消
- ②二重線上に本人印及び
連帯保証人・保証人の実印を押印
※機関保証選択者は本人印のみ
- ③正しい金額を直近余白に記入

希望する増額始期※		西暦	2	0	2	6	年	1	1	月	から	本
従前の奨学金月額		4 0 0 0 0 円										
希望する奨学金月額		7 0 0 0 0 円										
変更する理由		ア										

変更後の借用金額以外の訂正には訂正印の押印は不要。

【人的保証選択者のみ】

連帯保証人・保証人それぞれが添付する印鑑登録証明書のとおりに自署し、実印を押印。

印影の一部が欠けてしまったので、訂正のため二重線で抹消し、枠内に押印し直す。

※ 印鑑登録証明書を添付	※現在選択している保証制度	連帯保証人	住所 神奈川県横浜市緑区長津田町4259 S-3	電話番号 〇〇〇-△△△-××××
※ 人的保証(右欄を記入)	機関保証	住所 東京都江東区海2-×-×	住所 東京都江東区海2-×-×	住所 東京都江東区海2-×-×
生年月日 昭和40 年 12 月 1 日				

正しい欄に記入。
(逆に記入した場合は新しい用紙に書き直してください。)

連帯保証人・保証人欄の記入を訂正する場合は、二重線で抹消し、実印を線上に押印。

【増額反映月が増額始期の次月以降になる場合の振込例】

(本例では1月振込反映の申請期限までに不備が無い状態で機構に届いた場合を想定しています。)

希望する増額始期を提出日の属する11月としているところ、実際には11月分の振込は既に完了しており、12月分も従来どおりの40,000円が振り込まれる。

11月24日提出	11月始期を希望				
10月	11月	12月	1月	2月	
4万円	7万円	7万円	7万円	7万円	
希望					
↓	差額 3万円	差額 3万円	計6万円		
実際	4万円	4万円	4万円	13万円	7万円

11月から7万円としたいが11月は既に振込が完了

1月反映の提出期限に提出されたため、12月も振込4万円

1月に希望の額+差額の振込2月から希望額での振込

1月振込分にて希望の70,000円および従来との差額30,000円×2か月分の計130,000円が振り込まれ、2月以降は希望の70,000円の振込となる。